

## 来日までのザビエルの道のり

1506年	4月7日、サングエサ近くのザビエル城で誕生	1
1525年	パリ大学に進学	2
1529年	イグナチオ・デ・ロヨラと出会う	2
1534年	8月15日、ロヨラなど同志7人で、清貧・貞潔・聖地巡礼の誓願を立てる	3
1537年	1月8日、パリからドイツ、スイスを経てヴェネツィアに到着。病人の看護	4
	4月3日、教皇パウロ3世に謁見、聖地巡礼と叙階の許しを乞う	5
	6月24日、聖マルコ大聖堂にて同志6名とともに叙階	6
	9月30日、ヴィチエンツァで初ミサをあげる	7
1538年	ローマで異端視され迫害を受けるが、のちにローマ市長の公文書により汚名を払拭	8
1539年	会名を「イエズス会」と決定。翌年教皇文書により認可される	8
1540年	ローマよりリスボンに到着。ジョアン3世の宮廷で働く	9
1541年	リスボンよりモザンビーク着。病人を看護	10
1542年	5月6日、マリンディ、ソコトラ島を経てゴアに到着	11～13
	10月、漁夫海岸（コモリン岬とトゥティコリンとの間）で宣教（～翌年9月）	14～15
1543年	11月中旬、ゴアに帰る	13
	12月、盛式誓願を立てる	
1544年	2月中旬、再び漁夫海岸で宣教	14～15
	12月16日、コーチンに到着	16
1545年	2月、コーチンからセイロン島のコロombo、マンナル島を経て、コロマンデル海岸を北上し、ネガパタンに到着	17～19
	5～8月、サン・トメで活動	20
	9月末、サン・トメよりマラッカ着	21
1546年	2月14日、マラッカよりモルッカ諸島アンボン着。セラム島にも探検へ行く	22、23
	7月初旬、モルッカ諸島の島々を巡りながら北上し、テルナテ着	24
	9月半ば、モロ諸島の島々で宣教（～12月13日）	
1547年	1月、テルナテに戻る	24
	7月初旬、マラッカに戻る	21
	12月7日、ヤジロウら3人の日本人と出会い、日本宣教を考え始める	
1548年	1月13日、コーチンに戻る	16
	3月、ゴアに戻る	13
	11月中旬、漁夫海岸よりゴア着	13
1549年	4月15日、ゴア出発	13
	5月31日、コーチンよりマラッカ着	16、21
	6月24日、日本に向けてマラッカを出発	21

※一番右の列の数字は地図上の番号を示しています。

**【参考文献】**

『新カトリック大事典』上智大学新カトリック大事典編纂委員会編、研究社、1996～2010年

『聖フランシスコ・ザビエル全生涯』河野純徳著、平凡社、1988年

『東洋の使徒 聖フランシスコ・ザビエル』ホアン・カトレット著、金子桂子訳、新世社、1998年